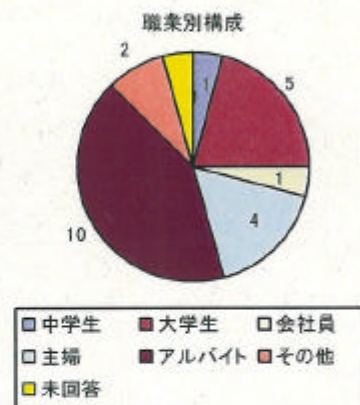
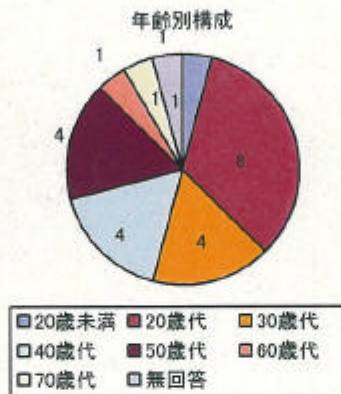
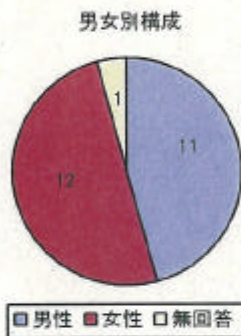


平成16年度交通バリアフリー教室実施結果【和歌山市】

- ◎ 参加者全員を満足(大変良かったが79%、良かったが17%、悪かったが無し)させることができた。
- ◎ 本教室には、和歌山大学の学生5名も参加。体験を通じ、障害者の立場が理解できたとの感想が多く寄せられた。

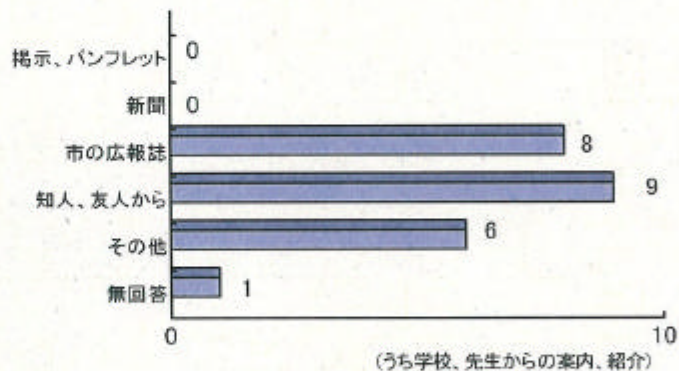
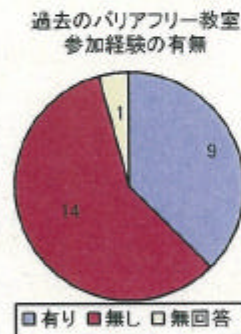
実施日時 11月27日(土)13時～16時 天候:晴れ
 実施場所 南海和歌山港駅及び南海フェリーターミナル、近畿運輸局和歌山運輸支局(築港庁舎)
 共同開催 和歌山市
 参加者数 24名

1. 参加者の属性



どのようにしてこの教室を知ったか

2. 参加動機、経験の有無



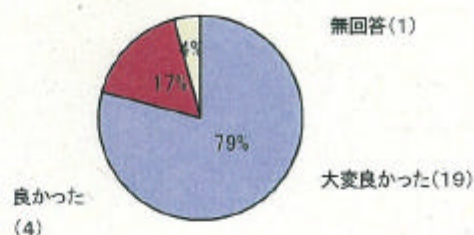
参加動機(複数回答)

1位	10	友人、知人に誘われて興味をもったから
2位	9	ハンディのある人や高齢者の実体験を試してみたかった
3位	8	仕事に役立てたい
4位	6	ハンディのある人や高齢者のサポートを試してみたい
5位	4	以前から参加してみたかった
6位	0	その他

今回の参加者の4割近くの方が、過去に同様のバリアフリー教室を経験されていました。
 また、参加動機では「友人、知人に誘われて興味を持った」という方が一番多くおられました。

3. 今回の教室に参加しての感想

ほとんど全員が良かった(大変良かったが79%、良かったが17%、無回答4%)と回答され、高い満足度を提供することができました。



【主な意見】

(1) 体験全体に関する意見

- ・障害のある人は、ものすごく辛いと思います。そんな人がいたら手伝ってあげたいです。(10代 男性)
- ・高齢者やハンディのある人の立場として体験できたので良かった。(20代 男性)
- ・スタッフ、講師先生が熱心に指導して頂いて良かった。(20代 男性)
- ・全ての体験が自分で考えていたよりはるかに大変で驚きました。体験してみてもサポートしてくれる人がいるだけで不安が減少し本当に助かりました。サポートということがとても大切なことだということが解りました。(20代 女性)
- ・スタッフの方が慣れていないのか手際が悪いところが見られた。要領も悪いところもあった。(20代 女性)
- ・内容が盛りだくさんで、幅広く知識を得ることができて有益であった。(40代 男性)

(2) 心のバリアフリーを広めて行くには、どうすれば……

- ・こうした教室を体験するなど、理解していくことが必要。(20代 男性)
- ・友人や家族にも話し、自分でどんどん困った人の手助けをしていく。(20代 女性)
- ・一人一人が思いやる気を持つための教育が早い頃から必要。(30代 男性)
- ・障害のある人に接する機会を設けるなど、障害者に対する理解を深めてもらうことが必要(40代 男性)
- ・バリアフリー教室は最も良い方法だと思います。何方にも困っている人に対して手伝いをしたい気持ちはあっても方法や声かけに少し勇気がいるようです。(50代 女性)

(3) 今後の教室の進め方についての意見

- ・実際の障害者や高齢者の参加を呼びかけ、もう少し大きく開催すれば良いと思う。(20代 男性)
- ・本当にハンディのある方に来て頂くと非常に締まった教室になると思う。(30代 男性)
- ・割と施設の整っている所のみで終始している。(30代 男性)
- ・関心のない方々への体験の勧め方の工夫が必要。(30代 男性)
- ・障害者の体験に加えてハード面のバリアフリーを具体的にどう進めていくかを考える内容も盛り組んでもらいたい(40代 男性)
- ・マスコミとタイアップして開催すれば、より重要性が伝わる。(40代 男性)
- ・子供たちのための教室、出前教室もあれば素晴らしい(40代 女性)
- ・誘導者の打合せが出来ていないため、各班がごちゃごちゃになった。(50代 女性)
- ・車椅子バス乗車体験を多くしてもらいたい。(50代 女性)
- ・人数が多いと講師の話が聞き難い。(40代 女性)
- ・今回は施設内での体験でしたが、外に出での体験も必要。(20代 女性)

(4) その他意見

- ・「人に迷惑をかけたくない」という遠慮をとって、ヘルプすることが当たり前という社会を作っていきたい。(40代 女性)